みいけ主婦会

※原稿送り先＝大牟田市不知火町2丁目
三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき＝市内3033・7140　炭鉱　474・528
※責任者＝文教部長　川畑　愛子

誰のための政治？
池田新政策のカラクリ

家族時事問答

父　すつかり秋めいてきたね。魚屋の店先にはさんまが並ぶようになつたしー。だが、こう物価高がつづくのでは、食欲の秋は変じておかあさんの頭痛のタネとなるね。

母　その通りですわ。家計簿で昨年の七月とことしの七月の総支出をくらべてみましたら、ことしは三千五百円も支出増になつてるのですもの。

のり子　すると池田首相がさかんに「物価は安定している」といつているのは、ウソなんですか？

和男　あやしいもんだよ。だつて新聞には毎日のように値上げの記事があるからね。食糧品から理髪代、洗たく代もあがるし、定期は二〇％、封書やハガキも現在よりそれぞれ二円高くなるらしい。

父　ホホウ。和男はよく調べているじゃないか。

和男　上がらないのは、お父さんの給料と、ぼくのお小遣いくらいのものだね。

のり子　池田首相は、国鉄運賃や郵便料金の値上げはやらないといつてるじゃない？

父　そこなんだがね。池田内閣としては、国鉄、郵便などの料金値上げは、いますぐはやらないといつてるだけのことで、総選挙で多数をとればそのときには値上げするハラなんだよ。鈴木郵政相が「郵便料金の値上げは選挙にも影響するので、総選挙までは値上げ問題にはふれない方針だつた」といつているのだから。国鉄運賃についてもおなじだよ。なにせ値上げ率が二割から四割もの高率だから、へたに値上げを言明した場合には選挙に影響するだろうし、それが自民党にとつては恐いわけなんだろう。

まず独占優先から

のり子　それじゃ選挙までは値上げはしないということなのね。

和男　池田内閣の新政策が発表されましたでしょう。それによると社会保障と減税と公共投資の三本を重点施策にするというのだけれど、実際にやれるのですか？。ぼくにはどうも選挙の宣伝スローガンのように思えてならないーー

母　池田さんは岸さんとはちがうし、「国民のための政治」を行なうのがわたしの信念だといつてるのだから、行なうでしょう。

父　さあ、それはどうかな。池田首相の場合には、岸さんよりも財界との結びつきが強いのだから独占資本優先の政治がかえつて強く行なわれるのではないかな。池田首相が就任して以来、新政策がうちだされるまでの、社会保障、減税、公共投資の三大施策の優先順位をふり返つてみると、池田内閣の性格もわかる。

和男　最初は「減税よりも社会保障」だつたでしょう。

父　そう。貧困者が一千万人といわれる日本では、社会保障は国民が待望する政策だからね。国民一人当りの社会保障費はスイスやスエーデンが三万三千円であるのに対し、日本は一千七百円という低額だ。そこで千二百億をもつて社会保障を拡充したい、というのが当初の発表だつた。これを一人当りにすると約千三百円で、現行とあわせると四千円。決して多い金額ではないのだが、これに対して財界が「低所得層対策に金をつぎ込むのはムダだ」と横ヤリを入れたために、社会保障優先はおじゃんになつた。

母　なにといれかわつたのですか？

父　減税だよ。

のり子　それならいいわ。

減税にも落し穴

父　待つてくれよ。その減税にもおとし穴があるのだからーー。内閣ができたころの減税総額は一千七百億円だつた。それがいまでは一千億円以上と表現でごま化して後退してしまつた。日本は〝税金地獄〟だといわれるくらい税金が重いのに、岸内閣は減税をしなかつたからますます重くなつている。国民の税負担率は二〇％だそうで、二〇％内におさえるためには一千七百億円の減税をしなければならないのだそうだよ。しかも減税の重点が所得税ではなくて、企業税におかれている。ちよつぴりだけ所得税に回されるらしいが、それさえも恩恵に浴する人は一部分で、勤労者の半数以上は無関係だ。

和男　税金をとられるほど給料をもらつてはいない、というわけなんですね。

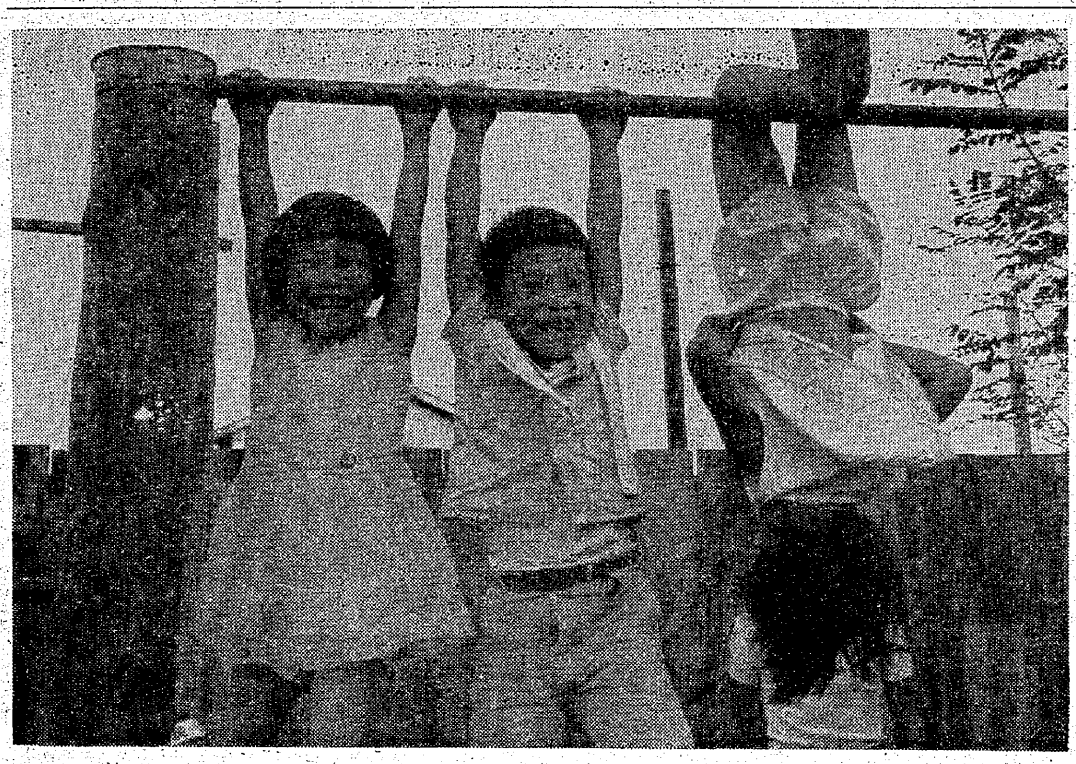
父　そうなんだよ。減税が企業課税重点にするようになつたのも財界が圧力をかけたからなんだ。

ペテン師池田

母　「国民のための政治」をモットーとするといいながら、それでは資本家のための政治ではありませんか？

のり子　どうして財界の要求どおりになつてますの？

和男　それはね、池田自民党政府の本質が資本家の利益を代表する政府だからだよ。



今日も元気で遊ぶ子供たち

婦人運動すすむ
母親大会参加者報告会ひらく

九月二十日十二時半から、大牟田市民会館で日本母親大会に参加した大牟田市内の各婦人団体代表二十三人による報告会が、母親連絡会主催で開かれた。

会がはじまる前に新しいお母さんのうた〝手をつなごう〟の歌唱指導があり、なごやかな雰囲気がもり上つた。

司会者を母と女教師の会の古賀さんが受もち、問題別集会の報告を参加者のうち七人のお母さんが一生懸命され、熱意と話の内容のすばらしさは、母親運動の目ざましい進歩を物語つておりました。

全体会議の報告をなさつた教組の江崎さんは、先ごろ大牟田市内でも上演された、アメリカ映画〝なぎさにて〟から話を引き出して私たちは世界をハカイにみちびく原水爆戦争の可能性の中に生きている。しかし、この恐怖をふせぐための努力はいまからでも決しておそくはない。平和を守るのが母親運動であり、原水爆禁止運動です平和を守るのは人類として連たい責任です。連たい責任をはたさないところに人類の破壊があるのです。と強調されました。

各分科会で三池へ関心

また、三池のもんだいはすべてのお母さんが深い関心をもつていられ、どの分科会でも〝三池のお母さんは？〟と問かれたそうです

大牟田から参加された人たちみんなが、三池の闘いを代つてうつたえたという話が沢山だされました。三池主婦会から一名の代表しか送れなかつたことを、大変みんなが残念がつていられました。

第六回大会、国民年金のスライドを上映したあと、「しあわせのうた」を集つたお母さん、労働婦人一緒にうたつて午後四時すぎ閉会しました。

報告会としては良い内容のものでしたが、参加者が予定より少なかつたことは残念です。婦人運動をのばすために、こういう行事に数多くのお母さんが参加されることをお願いいたします。

一緒に活動を
羽仁説子さんの講演

大牟田母親連絡会は東京から婦人運動、子どもの教育でながい活動歴をもつ羽仁説子さんをまねいて、九月二十三日午後から労働会館で講演会を開いた。

以下講演のあらまし。

幸福追求の権利

数カ月前に私は大牟田市へまいりましたが、そのご世の中はだいぶ変りました。世の中が進歩して女が心配だ、ということは絶対にありません。世の中が進歩して女が不利になることがないからです

自民党の憲法調査会で話し合われた憲法改正の中に、女の選挙権をある年齢までは制限するというケシカランことが出ていました。

選挙権というのは、人間であるという保証で、国民として認めるか、みとめないかが、選挙権をもつかもたないかにかかるのです。

だから、女の選挙権を男と分けて、ある年齢まで引上げるということは、女を国民として男と同じようには認めないということです

憲法の中で私は一番美しい言葉だと思うのですが「幸福追求の権利」とはつきりとうたわれています。国民の幸福について政治はもつと正直であつてほしいと思うのですが、幸福の内容はすすみます

以前の幸福のことをいつまでもいつていても進歩はありません。幸福追求の権利は進んできています。

昔の子供は、はじめからあきらめていました。しかし、いまの子供は幸福追求の権利をちやんと知つていて、わからないことは何回でも先生に質問します。決して途中であきらめたりなどしないのです。いまの教育が子供を生々と育てているということです。

共通のねがい

あらゆる女に共通なのは、子供をとうして未来に生きるということです。いろんな運動のなかで、なかなかわかつてもらえない人も子供をとうしてわかつてもらうように、まず先生を動かして共通の活動の場を作つたらいいと思います。

完全なしあわせを得るには、自分だけがいくらしあわせになろうとしてもだめで、文明社会は率の世の中だから、自分の子供だけのしあわせをねがえば他の婦人の子供をけおとさねばできないのです

闘いもそうです。たとえば三池の闘いも、うちは三池じゃないと思えば第二の方へ行くことになります。しかし、三池の闘いは三池だけのためじゃなく、完全雇用の闘いだと思えばみんなで一緒に闘えるでしょう。

教育基本法について

池田首相は低姿勢ですが、荒木文部大臣は高姿勢で、教育基本法を改悪するといつております。いまの基本法は義務教育、個性の尊重をうたつているのですが、改悪されると中学校で進学、就職のコースと二つにわけて教育が行われるようになるのです。これは重大な問題です。教育の差別待遇です

また、子供に甲乙はつけられません。精神遅弱児でも訓練すれば山下清のように絵を楽しみながら天分をのばすことができるのです

そして、精神遅弱児が生まれる原因は、妊娠中の母親の栄養障害や離産によるものがほとんどで、これは母体をもつと大切にあつかえば解決できる問題です。

あきらめの世の中にしてはダメです。女は未来にかけて生きているので、現実にかけて生きる男よりも、若若しくありたいものです

そのためには、まわりの人たちをはげまし、一緒に活動をすすめていつてほしいものです。

おわび

「姿見」は本号には掲載できませんでしたので、次号に掲載します

投稿者におわびいたします。

私語一つない会議

またいろいろの問題は、組合を中心として話し合い、問題解決のため林婦協も一体となつて闘うことになり、こんど二年間の活動方針を下部にしんとうさせ、よりよい林婦協の発展のため努力することが決定されました。二日間を通じ、本当にしんけんに討議され、私語一つなく自分のものにしようという意気ごみが会場にみちあふれていました。

林婦協のみなさんの発展を祈り共に闘うことを誓つて、会長と固い握手を交して帰山しました。林野のお母さん、がんばつて下さい

林婦協大会に参加して
石丸益枝

学校の問題などは、私たちの想像のつかないほど困難なものです

山の奥の子供たちは八キロほどの道を、小学一年生の子供でも、朝の五時、六時どろから歩いて通学していること、バスのあるところは一カ月の通学バス代を八百四十円もとられています。

給料の少ない中から、バス代もせいぜい一人分が関の山で、二人も三人も通学してる所では、とうてい駄目で困つているなど。

また終山を控えてとの悩み、事実縮少、住宅の問題など、今まで私たちの知らない悩みをたくさん持つた林野のお母さんたちは、この悩みをどのように克服して、自分たちの明るい生活をつくるためにはどのようにしたらよいか、約五時間にわたつて討議された中でそれは今の社会が悪いのだ、敵は誰であるかをはつきりとつかんだ中で、住みよい明るい社会をつくるには、私たちの味方である革新議員を議会に送ることである、ということで大会では社会党支持が決定されました。

新しい社会をつくるために

その他、数項目にわたつて一年間の活動方針が提案され、みんなが一人ひとり真剣に目をとうして発言されていました。

二日目は、林婦協の活動方針について討議されました。

(1)未結成に対しての対策
(2)学習活動の促進について
(3)林婦協通信発刊について
(4)学校教育をはかるため、へき地にもよい先生を配置する。
(5)選挙を通じて、私たちの代表をおくるようにします。

三池の闘いに認識ふかめる

座談会のなかでの質問は、こんどの闘う感想について、全学連の問題、生活費、うたごえの果した役割りなど、いろいろと質問されて、みんなのお母さんが三池の闘いをさらに知るために努力されている姿がみられました。

父　まつたくその通りで、それが表面的にあらわれたのが公共投資を最優先させる政策なんだ。公共投資というのは産業道路や港湾工業用水を整備することで、ことばを変えると政府の資金を使つて資本家が利潤を増す設備をととのえることだよ。公共とはいつても国民生活をよくするための施設をふやそうというのとは大部ちがつている。

母　すると社会保障や減税の政策は消えたのですか？

父　と

えてはいるね。しかし一リットルびんに三リットルの水を流し込もうとしてもムリだ。二リットルは必ずハミ出すだろう。だが選挙で多数をとるためには社会保障、減税をとりさげるわけにはいかない。そこで社会保障と減税はびんのレッテルとして張りつけてはあるが、中身は全て公共投資ということになる。

のり子　それじゃまるつきりペテンね。

母　ごまかされないように、しつかり勉強しなくちゃーー。